

2学期の終わりに

8月末から始まり85日間にわたる2学期も終業を迎えました。2学期の間、保護者の皆様、地域の皆様からいただいたご支援ご協力に深く感謝いたします。

2学期は、ふるさと演劇、新人戦運動会、駅伝、音楽会等、たくさん行事がある学期でした。始業式では、「やらされる行事ではなく行事を自分を成長させるチャンスとして捉える」こと、そのために行事の中で「ゴールイメージ(夢・目標)を持って取り組む」こと、行事に追われる中でも中学生として最も大切な「勉強を頑張る」ことを生徒たちに伝えました。

ふるさと演劇や小中合同運動会では、生徒一人ひとりが役割を持ち行事の成功のために精一杯努力しました。我々教職員も生徒の自主性を重んじ、突き放すべき時には口を出さず見守ることに徹しました。生徒たちはうまいくわずに苦しむ場面もありましたが、3年生を中心にみんな話し合い励まし合いながら懸命に取り組みました。その成果は、保護者・地域の皆様をご覧になられた通

りです。ふるさと演劇での迫真の演技、運動会でのソーラン節や応援合戦等、その一生懸命な姿は見る者すべてに感動を与えました。

新人戦、駅伝のような競技大会では、それまでの練習の在り方で勝負が決まります。駅伝は、長田快斗さんの弁論「チームのために」から意欲が高まり、夏から練習してきた生徒たちは声をかけ合いハイタッチをして明るく前向きに練習してきました。嫌々させられる練習ではなく自らを成長させるチャンスとして取り組みました。その姿を見ていた1・2年生は、辛いとわかっていながらも、たくさん希望参加しました。そういう練習だったからこそ男女とも昨年より上を目指すとこの目標が達成できたと思います。特に男子は19年ぶりの優勝を果たし、「西中一番」を体現してくれました。こうして「目標に向けて努力すれば、必ず報われる」ということを全校生徒で実感できたのも2学期の大きな成果の一つです。

3年生から2年生にバトンタッチした生徒会や校内音楽会では、他学年に頼らない学年の力が試されました。特に2年生は西中の伝統を守りながら、さらに上に向かうという意味を込めて「向」を生徒会のスロー

ガンに掲げました。人権集会では、西中の課題(敬語、からかい、挨拶)の解決に取り組みました。執行部は、事前に十分に準備をして、全校生徒が真剣に話し合う学び多き集会にしてくれました。

最後に勉強についてです。毎時間の授業では「学習課題」が提示され、その解決に真剣に取り組む生徒の姿がありました。授業の終わりには自分の学びの「振り返り」を行い、生徒たちは着実に学力を向上させていきました。家庭学習に自力では向かない生徒には、学年部の教員が個に応じた課題にするなど工夫もしました。学力アップの成果が現れるのは時間がかかりますが、3学期以降も生徒たちと共に根気強く取り組んでいこうと思います。

(文責 中学校校長)

小中一貫教育にむけて

今回は、小中連携部会の中の特別支援教育部会の活動を紹介します。

部会では、特別支援学級の小中合同学習について、小・中それぞれのねらいを持って計画を立て、合同学習を実施しています。中学生が良き手本としてやるべきことを示したり、小学生を優しくリードする姿が見ら

れたり、活動後の昼休みに小学生と中学生が一緒に遊ぶ姿が見られたりしました。また、特別支援学級のこだけだけでなく、通常学級の児童・生徒についても相談されています。現在、小学校1年生から中学校2年生までの授業を参観し、支援が必要な児童・生徒について情報交換がされ、個別の指導方法について話し合われています。これらのことを通して、子どもたちが日々の授業での困り感が少しでも解消され、さらに、小学校から中学校へのスムーズな移行につながればと考えています。

(文責 中学校教頭)

MD&SU結果

学力向上部会の取組として、今年度2回目のMD&SU(メディアダウン・スタディアップ)を11月16日〜22日に実施しました。この取組は、生徒自身が普段の生活を見直し、メディア接触時間を減少させ、家庭学習時間の充実を図ることをねらいとしています。





西ノ島小学校・西ノ島中学校

【方法】

自己の普段の生活を振り返り、「メディア時間」「学習時間」「起床・就寝時刻」の目標を立て、達成するための具体的な手立てを考えました。また、毎朝生徒が記入する「健康チェックカード」を活用しながら評価しました。

【結果】

メディア時間と学習時間に着目し、実施期間前と期間中の各学年平均時間を比較しました。どの学年も、期間前と期間中を比較すると、期間中はメディアダウン・スタディアップできていることが分かります。今年度2回目のMD&SUですが、全体的に1回目よりも目標を高く設定し、積極的に取り組む生徒の姿が見られました。

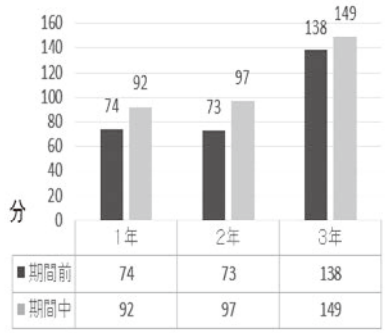
しかし中には、自分の決めた目標に対しての意識が低く、1日3時間以上メディアに触れて、学習時間が少なくなってしまう人もいました。この取組では、自分の決めた目標を達成しようとする強い意志や、やりたいことを我慢し、時間を意識し行動する力が必要になります。

個人の結果はファイルに綴り、学期末面談時に生徒・担任・保護者の方で冬休みの生活目標を決める際に

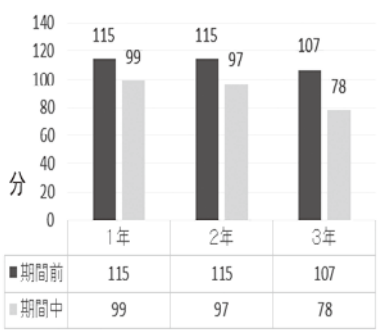
活用しました。保護者の方からは、「普段より土日に気持ち緩んでいった」「声をかけても行動に移すまでに時間がかかる」などの感想やご意見をいただき、学校・家庭での情報共有の場となりました。今後も、西ノ島中学校の生徒の健やかな成長を願い、この取組を続けていきたいと思えます。冬休み中もMD&SUを意識し、規則正しい生活を心がけましょう。

(文責 長澤)

学習時間(学年別平均)



メディア時間(学年別平均)



西ノ島小学校

2学期を振り返って

無事2学期を終えることができました。今学期はコロナ禍ということでも1学期に続き、様々な活動が中止や延期、制限をかけての学期となりました。それでも、一人ひとりの成長を願い、子ども達・教職員力を合わせ、規制や制限がある中でも工夫し可能な限りの活動を実施してきました。それぞれめざす子ども像で振り返ってみます。

豊かな心を持った子

(ハートアップ)

○小中合同運動会

中学校と合同の一大学校行事ですが、PTA役員をはじめたくさんの方のご支援やご理解をいただき開催することができました。「コロナに打ち勝て。戦え。笑顔とともに」のスローガン通り和気あいあいと更に繋がりが深まった運動会となりました。この運動会を通して子供たちは、協調性や相手を思いやる心情を育て、高学年はこれに加え中学生と一緒に準備や運営の役割を分担する

ことで、自主性や計画性、創造性を育てることができたと思えます。

○縦割り班による

サツマイモ栽培活動

今年度は交流を更に広げ、中学2年生とも一緒に活動しました。子供たちは勤労の尊さや収穫の喜び、そして互いに協力し助け合うことが大切であることを学びました。後ろで見守り小学生の活動を支えてくれた中学生の姿に、小中一貫教育でめざす小中の垣根を越えた心豊かな人づくりの姿を見た活動となりました。

○人権集会

人権週間に合わせ4年生から6年生が集まって、「誰もが楽しい、みんなが安心できる西ノ島小学校にするために」6年生を中心に話し合いました。今年度初めての集会活動でしたが、全ての西小の子供たちの人権を守るために、これから自分が行動していくことを決めた集会となりました。一人ひとりが心に刻み行動することで、より豊かな心を持った子供たちになってほしいと願っています。

次頁へ続く